作成日　2026 年 8 月 6 日
改訂日　2026 年 9 月 28 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称　：TAJ
供給者の会社名称，住所及び電話番号
　会社名称　：日本アグロサービス株式会社
　住所　：東京都港区東麻布三丁目４番１８号VORT麻布十番5F
　電話番号　：03-3479-7430
　緊急連絡先　：同上
整理番号　：RN-25016
推奨用途及び使用上の制限
　推奨用途　：除草剤
　使用上の制限　：推奨用途以外での使用は不可

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	：区分 4
健康に対する有害性	急性毒性（吸入）	：区分 4
	皮膚腐食性／刺激性	：区分 2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：区分 2
	生殖毒性	：区分 1B
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	：区分 1（中枢神経系、全身毒性）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	：区分 1（中枢神経系、血液系） 区分 2（呼吸器、肝臓、脾臓）
環境に対する有害性	水生環境有害性　短期（急性）	：区分 3

上記に記載がないものは、「区分に該当しない」か「分類できない」である。

GHSラベル要素
絵表示　：



注意喚起語　：危険
危険有害性情報　：H227　可燃性液体
H332　吸入すると有害
H315　皮膚刺激
H319　強い眼刺激
H360　生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H370　中枢神経系、全身毒性の障害
H372　長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系、血液系の障害
H373　長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、肝臓、脾臓の障害のおそれ
H402　水生生物に有害

作成日　2026 年 8 月 6 日
改訂日　2026 年 9 月 28 日

注意書き　:【安全対策】
P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P264 取扱い後は手をよく洗うこと。
P270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面等を着用すること。
:【応急措置】
P302+P352 皮膚に付着した場合:多量の水と石けんで洗うこと。
P304+P340 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P305+P351+P338 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察／手当てを受けること。
P314 気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受けること。
P321 特別な処置が必要である(4. 応急措置を参照)。
P332+P313 皮膚刺激が生じた場合:医師の診察／手当てを受けること。
P337+P313 眼の刺激が続く場合:医師の診察／手当てを受けること。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P370+P378 火災の場合:消火するために適切な消火剤を使用すること。
:【保管】
P403 換気の良い場所で保管すること。
P405 施錠して保管すること。
:【廃棄】
P501 内容物や容器は、当該規則に従い都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して、適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　:混合物

化学名又は一般名	含有量
アンモニウム=DL-ホモアラニン-4-イル(メチル)ホスフィナート (一般名:グルホシネート)	18.5%
界面活性剤等	81.5%

化学名又は一般名	含有量	CAS No.	化管法管理番号	官報公示整理番号	
				化審法	安衛法
グルホシネート	18.5%	77182-82-2	―	―	2-(3)-223
POE アルキルエーテル硫酸塩	5.0%	68585-34-2	1 種 409	7-155 7-120	―
イソプロパノール	10.0%	67-63-0	―	2-207	2-(8)-319

作成日　2026 年 8 月 6 日
改訂日　2026 年 9 月 28 日

4. 応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸困難が生じた場合は、直ちに医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
作業後は衣服等を交換し、着用していた衣服は他の物と分けて洗濯すること。
刺激等の異常が認められる場合には、医師の手当てを受けること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、手当てを受けること。

飲み込んだ場合：多量の水で口の中をよくすすぐ。吐かせない
直ちに医師の手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：小規模な火災: 乾燥化学消火剤、二酸化炭素
大規模な火災: 消火には泡または水を使用する。危険がない場合は、容器を火災現場から遠ざける。可能な限り離れた場所から水をかけて容器を冷却する。

使ってはならない消火剤：棒状注水

火災時の特有の危険有害性：情報なし

特有の消火方法：風上側に位置する。危険区域を隔離する。煙やガスを吸い込まないよう注意する。水または泡を使用してガスを低減させる。漏出した物質には触れないこと。可能であれば、容器をその区域から移動させる。流出を止められる場合にのみ消火を行う。大量の水で霧状に散水する。可能な限り離れた位置から、大量の水で容器を冷却する。蒸気を吸い込まないよう注意する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
：消火活動の際には、適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置
：屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
適切な保護具を着用し、身体への曝露を最小限に抑える。

環境に対する注意事項：漏出物を直接環境中に放出しないこと。
河川や下水道、養殖池等に流れ込まないよう、十分に注意すること。
流出事故の影響を防止し、その影響を回復するために必要なあらゆる措置を講じる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
：少量: 粒状粘土、おがくず、ペット用トイレ砂などの不活性吸収材で吸収する。粉じんの発生を避けるよう注意しながら、丁寧に掃き集める。廃棄物用容器に入れて処分する。流出箇所を少量の石鹸水で洗い流す。洗い流した液体を不活性吸収材で封じ込め、吸収し、同じ廃棄用容器に入れる。その場所を水で洗い流して、残留物を完全に除去する。水が上水道や下水道に混入しないようにする。

作成日　2026 年 8 月 6 日
改訂日　2026 年 9 月 28 日

大規模: すべての着火源を取り除く。こぼれた物質に触れることなく対応できる場合は、漏洩を止める。後の処理のために、液体の流出箇所よりかなり手前に防液堤を設置する。流出物の清掃に使用するすべての機器は、接地させる。水路、下水道、地下室、または閉鎖空間への流入を防止する。汚染が発生した場合は、直ちに所管の当局に連絡する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い　技術的対策　：「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項　：取扱いは換気の良い場所で行い、作業場の換気は十分行う。
取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
屋外での取扱いはなるべく風上から作業する。
取扱いの都度、容器を密閉する。
眼、皮膚、衣類に付けないこと。
眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意すること。
皮膚に対して弱い刺激性があるので付着しないように注意すること。
適切な保護具を着用すること。
高温、火気の近くで取扱ってはならない。

局所排気・全体排気　：「8. ばく露防止及び保護措置」を参照

接触回避　：「10. 安定性及び反応性」を参照

衛生対策　：この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをすること。

保管　安全な保管条件　：食物、飲料等と区別し、火気、直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管すること。
小児の手の届く所へ置かない。

安全な容器包装材料　：国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度
イソプロパノール　：200 ppm

許容濃度
イソプロパノール
日本産業衛生学会　：200 ppm(500mg/m3)
ACGIH　：TWA 200 ppm
STEL 400 ppm

設備対策　：屋内で取扱う場合には、全体換気装置を設置する。
できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。
取扱場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具
呼吸用保護具　：農薬用マスク
手の保護具　：防水ゴム手袋
眼、顔面の保護具　：保護メガネ
皮膚及び身体の保護具　：長ズボン・長袖の作業衣等、長靴

作成日　2026 年 8 月　6 日
改訂日　2026 年 9 月 28 日

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	：水溶性液体
色	：青緑色澄明
臭い	：特異臭
沸点又は初留点及び沸騰範囲	：情報なし
可燃性	：情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	：情報なし
引火点	：≥149°F/65°C
自然発火点	：情報なし
分解温度	：情報なし
pH	：6.0 ± 2(5%水溶液)
動粘性率	：情報なし
溶解度	：情報なし
n-オクタノール／水分配係数(log 値)	：情報なし
蒸気圧	：情報なし
密度及び／又は相対密度	：1.10 g/cm3 at 20°C
相対ガス密度	：情報なし
粒子特性	：情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	：通常の取扱い条件下では安定。
化学的安定性	：通常の取扱い条件下では安定。
危険有害反応可能性	：発生しない
避けるべき条件	：情報なし
混触危険物質	：情報なし
危険有害な分解生成物	：情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口	：区分に該当しない ラット LD50 >5000mg/kg
経皮	：区分に該当しない ラット LD50 >2000 mg/kg
吸入	：区分 4 ラット LC50(4 時間) 3.73 mg/l (ごく軽微な毒性)

皮膚腐食性／刺激性	：区分 2 ラット 軽度の刺激性
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：区分 2 ウサギ　中程度の刺激性

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性	：データが不足しているため分類できない。
皮膚感作性	：区分に該当しない モルモット 感作性なし(陰性)

作成日　2026 年 8 月 6 日
改訂日　2026 年 9 月 28 日

生殖細胞変異原性	: GHS 分類基準以下であり区分に該当しない。
発がん性	: GHS 分類基準以下であり区分に該当しない。
生殖毒性	: 成分の情報より、区分 1B とした。 （成分） グルホシネート:区分 1B
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 成分の情報より、区分 1(中枢神経系、全身毒性)とした。 （成分） グルホシネート:区分 1(中枢神経系) イソプロパノール:区分 1(中枢神経系、全身毒性)、区分 3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 成分の情報より、区分 1 (中枢神経系、血液系)、区分 2 (呼吸器、肝臓、脾臓)とした。 （成分） グルホシネート:区分 1 (中枢神経系) イソプロパノール:区分 1(血液系)、区分 2 (呼吸器、肝臓、脾臓)
誤えん有害性	: データが不足しているため分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	: 区分 3
水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分に該当しない

生態毒性

魚類に対する急性および長期毒性(LC50)	: ブルーギル 79mg/l (96h) ニジマス 42mg/l (96h) コイ 80mg/l (96h) 淡水魚および無脊椎動物 560-1000 mg/l
水生無脊椎動物に対する急性毒性(EC50/LC50)	: ミジンコ >100mg/l (48h) 海洋生物および河口域の生物 7.2-125mg/l
水生無脊椎動物に対する慢性毒性(NOEC)	: 淡水無脊椎動物 32mg/l
哺乳類以外の陸生生物に対する毒性(LD50/LC50)	: 鳥類における急性経口毒性 >2000mg/kg 鳥類における急性経口摂取毒性 >5000ppm 鳥類における生殖毒性 400ppm ミツバチにおける接触毒性 >600μg/匹
残留性・分解性	: 水中の安定性 : 加水分解半減期 >300 days 光分解 : 光分解半減期 >300 days
生態蓄積性	: 蓄積性なし
土壌中の移動性	: 土壌半減期 野外分解試験では 6～23 日。Koc 値:10～1229(土壌の種類による)。
オゾン層への有害性	: 情報なし

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

作成日　2026 年 8 月 6 日
改訂日　2026 年 9 月 28 日

残余廃棄物　：関連法規並びに地方自治体の規則に従い、廃棄物処理業者に処理を委託する等により適切に廃棄すること。
汚染容器及び包装　：関連法規並びに地方自治体の規則に従って適切に処理を行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制	国連番号	：該当しない
	品名	：該当しない
	国連分類	：該当しない
	容器等級	：該当しない
国内規制	陸上輸送	：道路法等の規定に従う。
	海上輸送	：船舶安全法の規定に従う。
	航空輸送	：航空法の規定に従う。
特別の安全対策		：引火性液体なので火気厳禁。 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 車両、船舶には保護具(手袋、メガネ、マスク等)を常備する他、緊急時の処理に必要な消化器、工具等を備えておく。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法
第一種指定化学物質　：ポリ(オキシエチレン)＝ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム(409)
労働安全衛生法
名称等を表示すべき危険物及び有害物
：２－アミノ－４－[ヒドロキシ(メチル)ホスホリル]ブタン酸及びそのアンモニウム塩
プロピルアルコール(アルキル基の異性体を含む。)
名称等を通知すべき危険物及び有害物
：２－アミノ－４－[ヒドロキシ(メチル)ホスホリル]ブタン酸及びそのアンモニウム塩
プロピルアルコール(アルキル基の異性体を含む。)
Ｎ,Ｎ－ビス(２－ヒドロキシエチル)(ココアミド)(1%未満)
ジエタノールアミン(1%未満)
毒劇物取締法　：該当しない
消防法　：指定可燃物(可燃性液体類)
農薬取締法　：登録番号　第 25016 号

16. その他の情報

参考文献
・JIS Z 7252:2019 GHS に基づく化学物質等の分類方法
・JIS Z 7253:2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 ― ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
・独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE-CHRIP)
・原料 SDS

作成日　2026 年 8 月 6 日
改訂日　2026 年 9 月 28 日

この安全データシートは現時点で入手可能な資料等をもとに作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証も成すものではありません。また注意事項は、通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いを行なう場合には自らの責任において用途に適した処置を講ずることが必要であることを理解した上で活用して下さい。